

# U.S. Indicators

## 米国 製造業は拡大ペースをさらに加速(14年8月ISM製造業景気指数)

発表日：2014年9月2日（火）

～米製造業は好調を維持、他国との製造業活動格差拡大～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

	総合	新規受注	生産	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	輸出受注	輸入
13/08	56.3	63.6	63.0	55.0	47.5	52.4	46.5	54.0	55.5	58.0
13/09	56.0	61.3	61.2	54.8	50.0	52.7	49.5	56.5	52.0	55.0
13/10	56.6	61.3	60.8	54.3	52.5	54.1	51.5	55.5	57.0	55.5
13/11	57.0	63.4	62.4	55.4	50.5	53.3	54.0	52.5	59.5	55.0
13/12	56.5	64.4	61.7	55.8	47.0	53.7	51.5	53.5	55.0	55.0
14/01	51.3	51.2	54.8	52.3	44.0	54.3	48.0	60.5	54.5	53.5
14/02	53.2	54.5	48.2	52.3	52.5	58.5	52.0	60.0	53.5	53.5
14/03	53.7	55.1	55.9	51.1	52.5	54.0	57.5	59.0	55.5	54.5
14/04	54.9	55.1	55.7	54.7	53.0	55.9	55.5	56.5	57.0	58.0
14/05	55.4	56.9	61.0	52.8	53.0	53.2	52.5	60.0	56.5	54.5
14/06	55.3	58.9	60.0	52.8	53.0	51.9	48.0	58.0	54.5	57.0
14/07	57.1	63.4	61.2	58.2	48.5	54.1	49.5	59.5	53.0	52.0
14/08	59.0	66.7	64.5	58.1	52.0	53.9	52.5	58.0	55.0	56.0

(出所) ISM: the Institute for Supply Management

### ISM製造業景気指数 は59.0と前月比1.9% ポイント上昇

14年8月のISM製造業景気指数(季節調整値)は、59.0と市場予想の低下に反して前月比+1.9%ポイント上昇した(市場予想中央値57.0、当社予想57.4)。米製造業部門の一段の加速を示唆、他国との製造業活動格差はさらに拡大している。構成項目では入荷遅延、雇用が低下した一方で、新規受注、生産、在庫が上昇した。重要項目である新規受注、生産が上昇しているうえ、在庫管理も徹底されており、製造業部門が堅調さを維持する可能性が高いことを示している。また、製造業部門は広がりを持って拡大していることが示唆されている。業種別では、自動車関連では消費者が財布の紐を固くしていることを報告、家計向け販売鈍化の可能性が示唆されたものの、事業環境は変わっていないと指摘されたほか、他の消費関連、設備投資関連での需要拡大等を背景に、製造業部門は拡大基調を維持しているようだ。家具関連では需要が強く、食品・飲料・タバコでは事業見通しが良好と報告された。また、コンピューター関連のビジネス環境はエネルギー関連で良好、一般機械では需要が強いと報告されており、多くの業種で良好な事業環境が続いている。

総合指数への構成項目別の寄与度をみると、入荷遅延(前月比▲0.04%ポイント)、雇用(前月比▲0.02%ポイント)が押し下げ寄与となった一方、在庫(前月比+0.70%ポイント)、新規受注(前月比+0.66%ポイント)、生産(前月比+0.66%ポイント)が押し上げ寄与となり、総合指数は前月比+1.9%ポイント上昇した。

### 活動の拡大した業種は 17業種と、広がりを伴 った拡大

活動の拡大した業種数は、全18業種中17業種(前月17業種)と、多くの業種で拡大しており、広がりを伴った業況の改善となっている。拡大した業種(拡大を続けた業種に

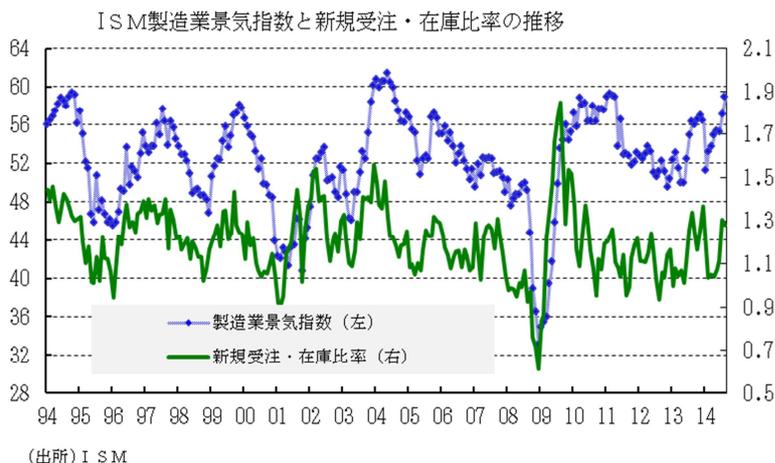
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

は下線)は、家具・同関連製品、非鉄、食品・飲料・タバコ、一般機械、加工金属、コンピューター・電子機器、輸送機械、その他製造業、電気装置・同機器・同部品、アパレル・皮革・同製品、印刷・同関連支援、石油・石炭、一次金属、紙製品、木材製品、化学製品、プラスチック・ゴム。一方、縮小した業種は、繊維と1業種(前月1業種)にとどまった。

(注) 下線は拡大を続けた業種

### 今後のISM製造業景気指数は製造業部門の堅調さを示す水準で推移する見込み

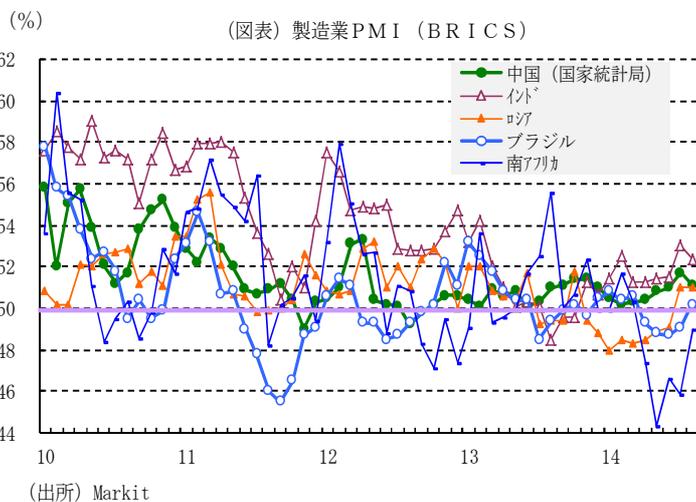
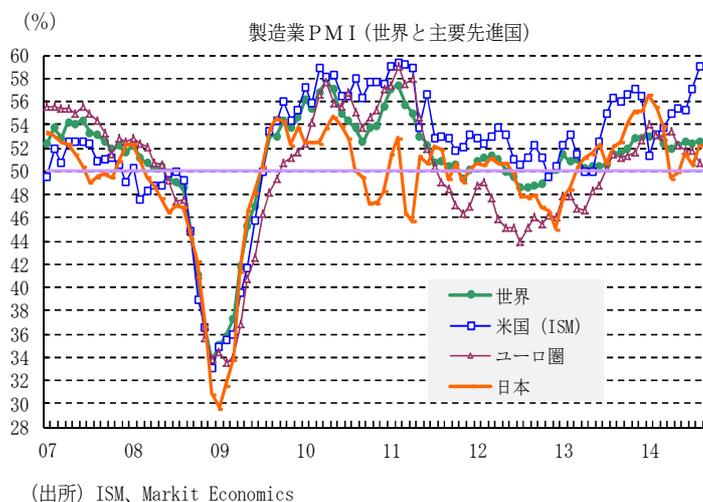
今後に関しては、ISM製造業景気指数は、世界景気の鈍さの影響を受け、小幅水準を切り下げるものの、個人消費を中心に緩やかな成長を維持する国内需要などに下支えされ、製造業部門の堅調さを示す水準で推移する公算が大きい。



### 8月の世界製造業PMIは小幅上昇し21カ月連続で50を上回ったものの、水準は高くない

8月の世界製造業PMIは52.6(前月52.4)と前月から上昇し、21カ月連続で50を上回った。製造業部門の拡大傾向を示しているものの、新興国の弱さを主因に水準は低いままである。中国を含むBRICS諸国は持ち直しているが、以前と比べて勢いは弱い状態。

50を下回った国は、豪州、デンマーク、インドネシア、南アフリカ、ポーランドなど。一方、50を上回った国は、米国、日本、ユーロ圏、英国、カナダ、ロシア、中国(国有企業中心)、中国(中小企業中心)、インド、ブラジル、スウェーデン、ノルウェー、ハンガリー、トルコ、韓国、台湾、ベトナム、メキシコ、ナイジェリアなど。ただし、中国、インドなどの水準は過去と比較して依然低い水準。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

## 輸出の拡大を示唆

上述のような環境のもとで、輸出受注D Iは、8月に55.0と前月比+2.0%ポイント上昇し、拡大縮小の分岐点である50を21ヵ月連続で上回った。世界的な景気拡大の動き等を背景に、輸出の増加が示唆されている。ただし、世界的な製造業活動の拡大モメンタムは弱く、輸出の伸びは抑制されよう。

## 各国の米国向け輸出は増加ペース鈍化も

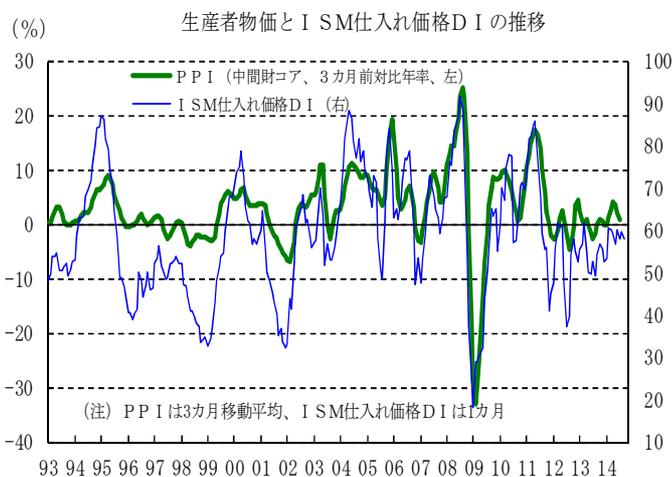
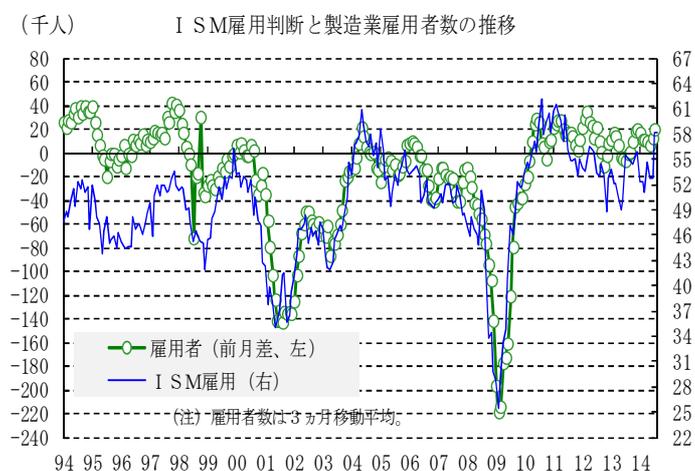
一方、輸入D Iは、8月に56.0と前月比+4.0%ポイント上昇した。輸入は米国内需要の拡大持続を背景に増加傾向を続けるものの、4－6月期に高い伸びとなった影響もあり、7－9月期に小幅鈍化することが示されている。すなわち、先進国、新興国の米国向け輸出の減速を示唆しており、世界経済の拡大モメンタムが鈍化する可能性がある。

## 雇用D Iは8月の製造業雇用の増加ペースの小幅加速を示唆

雇用D Iは、8月に58.1と前月比▲0.1%ポイント低下したものの、製造業部門雇業者数（3ヵ月移動平均）の増加ペースの小幅加速を示唆している。今後、激しい価格競争によるコスト削減圧力を背景に、製造業部門での雇用の回復ペースは鈍い状況が続く見込み。

## 仕入価格D Iは川中でのインフレ圧力が限定的であることを示す

仕入価格D Iは、エネルギーなどの価格上昇によって、8月に58.0と前月比▲1.5%ポイント低下した。50を上回っているものの、インフレ統計との関係でみると水準が低く、川中でのインフレ圧力は限定的であることを示している。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。